

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月3日		記入者	加藤敬	連絡先	5215
平成18年度部名	生涯学習部		課名	生涯学習課	課長名	高橋誠司
平成19年度部名	生涯学習部		課名	生涯学習課	課長名	高橋誠司
事務事業名	家庭教育の啓発					
予算上の事務事業名	家庭教育啓発費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14220		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第2節 青少年の健全育成					
施策名	第2施策 家庭・地域の教育力の充実と学校との連携強化					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
親子ふれあい家庭教育事業委託要綱						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント			5 事業開始年度	平成17年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
地域及び家庭の教育力を向上する。					児童と保護者	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
各校PTA単位で児童と保護者がふれあえるような体験活動を実施する。 市P連との契約によって実施するが、時期や場所は各校PTAによって異なる。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
県内自治体の多くで、家庭教育に関する事業が実施されている。						
8 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	172	2,094	2,094	3,016	3,016	
一般財源	172	2,094	2,094	3,016	3,016	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	0	0	0	
事業コスト合計	172	2,094	2,094	3,016	3,016	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	親子ふれあい家庭教育事業			対象名称 と単位	小学校PTA（団体）	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	1,344	1,176	1,595	1,595	
対 象 数	0	55	55	55	55	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	24,436	21,382	29,000	29,000	
前 年 度 比		#DIV/0!	0.88	1.36	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	実施団体数(団体)	指標式と指標の説明	実施したPTA数(旧市内小学校PTA)		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	48.0	46.0		
目標	0.0	55.0	55.0	55.0	55.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	87.3	83.6		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者数(人)	指標式と指標の説明	事業に参加した人数 ※目標は、6学年のうちいずれかの学年で1回、親子(子1名につき親1名)で参加した場合の参加者数とした。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	11938.0	12290.0		
目標	0.0	11875.0	12574.0	12574.0	12574.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	100.5	97.7		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]:良好な状態を維持する事業				
	[★★★]:概ね良好な状況である事業				
	[★★]:見直しを行う必要がある事業				
	[★]:抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		親子でふれあいながら体験型学習をすることで、家庭教育力の向上に資しているのみならず、個々の家庭と地域をつなぐことにも貢献している。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
合併による市域拡大に対応して、事業を拡大している。			地域の特色に対応した事業の実施に向けて、各PTAへの先進事例等の啓発の充実を図る。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			